

2016年11月5日朝の会議事録

保護者73名 役員4名

添付資料「生徒数増加に対する方向性」に沿って説明があった。

上記資料について下記のように補足

※1、1枚目別紙参照とあるが、朝の会では口頭で読み上げた。

※2、2枚目「少人数性クラス導入の場合」を説明後、将来的に幼児と児童の割合が同じになる為副委員長を増員し、幼児、児童、成人で分ける事が可能になると提案。

※3、「生徒増加により発生する検討課題」メリット

賃貸しているカレッジ側から多くの設備を利用できるようになった。

例) 第一保護者室(大部屋)コピー室を倉庫として使用可能になり、個人宅でお預かり頂いていた運動会道具を保管可能となった。

※4、グラフ資料の「モンリオール領事館管轄邦人数増加とセンター生徒数の推移比較」はモンリオール領事館管轄邦人数(カナダ東部5州、ケベック州、ノバスコシア州、ニューブランズウィック州、ニューファンドランド、ラブラドル州、プリンスエドワードアイランド州全体の人数)でモンリオールエリアの邦人数ではない。全体の人口を比較する参考である。

資料を読み上げた後、
保護者より質問

保護者1：2025年生徒数は何を基準にしているのですか？

委員長：幼児3クラスの定員15名、全学年45名のうち15人程補習校に行くとして見込んだ。その後は過去のデータより、児童クラスは毎年、減員していく計算で手作業にて作成。その他のシュミレーションは幼児1の基準と最大クラス人数を変えて作成してあります。

保護者1：日本人人口が、このままこの傾向が続くのかはわからない。

委員長：あくまで予想なので、事前に話し合いができればと思う。今は未来を考えつつ、来年はどうするかを考えていきたい。

行事係リーダーからの意見を読み上げた。

委員長がメールにて質問し、意見を聞いた各行事リーダーからの意見のまとめ

子供の日係：スケジュールがタイトになってきた。柏餅の準備手配が大変なので、今後の生徒数増加が進むのであれば、その配布も再考慮する必要があるのではないか。

ひな祭り係：スケジュールがタイトになっているが、調整可能。

人数が多くなっても行事の運営方法自体を変えて対応することは可能。

今ある行事の形にとらわれる必要はなく、対応できるように変えていくことも大切。

できるだけ多くの子供が日本文化に触れることができる場所になってほしい。

節分係：時間配分が大変になり3回行うところが昨年度は4回で、鬼役のお父さん達も、疲れてしまうと言う声が出ている。本年度は中高等部は行わず今まで通り4回出来ればと思っています。

書初め係：スケジュールがタイトになってきているが、道具追加、係人数、日程を調整すれば対応可能。

コピー係：生徒数が増えるに伴ってクラスが増え、コピーの量が増えるということが難点です。コピー用のカートリッジ&コピー用紙などの在庫購入(出費)も今よりも多くなる。

※前年度購入のコピーに加え、別でカレッジのコピー機を使用できていたが、それが故障して使用不可になった為、新しいコピー機が必要。購入を検討する可能性がある。

文集係：生徒が書いた文集の数が増えることで回収量が増えそれに伴い確認等の負担増加、文集作成時の作業量増加。各担任の先生とのメール等でのやりとりやスケジュール調整の負担、クラス写真撮影時の作業量増加、文集のクラス表紙作成などの作業量増加。

2年前に成人クラスの文集を廃止したのも、幼児・児童・中高等部の生徒数の増加に対する対策でした。

運動会：生徒が増えた場合、時間が押してしまったり、生徒をまとめる係の人員の増加も必要になる。運動会の参加を幼児2からにするなどの対策も考えなければなりません。

前回から運動会は幼児、児童2部制になりましたが、去年、今年とスムーズに進行できたかと思います。来年も同じくらいの人数ならば今年と同様に特に問題なく運動会は2部制で開催できると思います。

写真係：生徒数が増えることによって各行事、時間に追われるのは確かだと思います。生徒数が減ると楽になるのは確かです。でも行事に関してはどうにでもなるのではないのでしょうか？それ以前に、このまま生徒を増やして行って、教室や教員を確保できるかというようなことのほうが大事だと思います。

ウェブ係、ベビーシッター係：影響はない。

〈行事係担当の保護者代表運営委員の見解〉

音響係は通常、開講式、運動会、発表会に業務があるが、本年度は広くなった保護者室で全保護者と会議があるときはマイク設備を準備することとなった。

セキュリティ係は1フロアに配置していたが、本年度から2フロアに配置になり、来年度からは増員予定。

結論で言うと、行事係に関しては調整が必要ではあるが、生徒数が増加しても、打つ手はある。今後の生徒受け入れの参考要素であり、生徒数を増やすなら、優先すべきことは、保護者の意思、教室、教員の確保である。

保護者1：昔はハロウィン、クリスマスがあった。いくつか過去に行事が消えている。そのようなやり方がある。

保護者2：分析資料を作成ありがとうございます。現状維持、少人数制、減員のアイデアもいいが、まずの生徒受け入れの主旨が大切と考える。行事ごとは貴重な体験。息子がセンターに来てなければ、運動会玉入れなどは一生経験できない。習字でも同じ、家庭ではやれないので、そういった文化に触れ合うことなく大きくなっていく。センターでこれだけの行事をしてもらって、ありがたい。柏餅がなくなるのは悲しい。子供目線で考えて行事を行ってあげたい。子供に合わせた行事の計画が必要。無理のない範囲で調整して頂きたいが、1つ1つの行事が子供達の楽しめるものであって欲しい。私としては少人数制を選びます。

保護者3：アトリエクラスについてはこれはどうなるのか。

委員長：今回の幼児受け入れとは別件である。減クラスの案だと児童クラスでは1学年1クラスとなる為、レベル分けなどの(目的別など)選択肢はなくなると思います。

保護者4：子供に文化継承を伝えるのは大切。でも、役員、行事リーダーが大変なのでなかなか決まらない。ここで生徒増加にストップをかけるか、文化継承を考えるかどうするかを決める必要あり。委員長：ウェイティング待ちを多く作ってしまうのは心苦しい。センターの始まりは文化継承語を引き継ぎたい意思のある保護者の助け合いのサークルで、元々は小さいコミュニティーだった。その小さい知り合いグループでの助け合いの運営のまま人数が増え今では知らない人がいっぱい大きな学校となった。保護者間での仕事負担の差が著しく、助け合い運営は難しい規模になっている。運営方法を変えなければ増員も運営も困難である。

保護者5：行事を参加費制にして、スタッフとしてだれかを雇ってはどうか？これだけの人数をボランティアでまわすのは難しい。はじめからビジネスに変えるのはどうか？

例えばT4Aなどコントラクトにする。

運営もT4にしてはどうか？

ボランティアも限界があるのではないか。

委員長：これからも役員の謝礼金もまだ、どうするか決まっていない。

保護者5：そうする（雇用、コントラクトにする）とフェアになるのでは？

保護者1：私自身は幼児は人数をしぼらず入れることが出来るのではと思う。でも問題はでると思う。

何を主旨にして、生徒を受け入れるかである。センターウェブサイトで以前にアンケートをとった結果（2013-2014年度）がみれる【センター運営】—【保護者アンケート】ので参考まで。

アンケートを行った当時の保護者は子供が皆で一緒に学べる環境があればいいという結論だった。運営委員が忙しくなる、リーダーが難しくなるが、協力が少ない。

サービスを作るのは保護者の協力が必要。

昔からある、ボランティア精神で成り立っているセンターなので、再度保護者の運営意識の再確認をする必要があるのではないかと？

保護者6：各クラスに代表を作ってはどうか？お知らせメール容量オーバーのメールを解決できる。ちょうどいい人数でまとめた意見がきけるのではないか。

委員長：会議を幼児、児童クラス以上などで分割してはどうかと考えている。児童低学年クラスで以前したが、個人の意見を多く聞けた。

現在は大勢で発表になるので、限られたひとが発表することが多い。

終了時間がきたので、本日は今後の幼児1クラスの受け入れについて、センターの将来を見据えてどのような方向が良いか参加保護者の意識調査をした。

挙手してもらった結果

現状維持または少人数制：大部分の保護者

2クラス制：数名

今回の朝の会は決定をする為ではなく、現状報告と今後の話合いであった。

※教員の意見も聞く必要がある。

11月26日に決議を取る事とする。

以上